

# LE Hoang Anh Thu 准教授

## ベトナム人高齢者による仏教の慈善活動と 老後の経験や人格の関係性



私の研究では、ベトナム人高齢者の多くが参加している仏教徒の慈善活動を調査することにより、ベトナム人高齢者の日常生活や経験が社会との相互作用の中でどのように形成されているかを探ります。仏教徒の慈善活動がベトナム人の高齢化の社会的経験をどのように定義しているのか、そしてどのように社会的役割の喪失や身体的衰退など高齢化に伴って直面するさまざまな現実に対処することを可能にしているのかを理解することが目的です。

この研究テーマを設定した背景の一つに出生率低下と平均寿命の伸びによるベトナムの急速な高齢化が挙げられます。ベトナムの高齢者（ベトナム政府により60歳以上と定義される）は、2017年の人口の10%以上を占めています。



ベトナム南部の学校にて  
農村の子どもたちにプレゼントを配る仏教徒



ベトナム南部のハンセン病患者があつまる地域にて  
ハンセン病患者へのプレゼントの準備をしている仏教徒

この研究のデータを集めるためベトナム南部の寄付者の方々や関連組織の中でフィールドリサーチを行い、彼らと共にホーチミン市内外の病院やハンセン病患者があつまる地域、農村地域で行われた慈善活動に参加しました。私は、企画段階から活動に携わったり、募金活動、自治体や支援者への連絡、農村地域への訪問に同行したりと、さまざまな段階の活動に参加しました。まだ調査の途中ではありますが、これまでに収集したデータからは、慈善活動は高齢者の尊厳や社会的帰属意識、社会的地位との関連性が浮き彫りになっています。

ベトナム人高齢者の仏教を通じた社会活動を調査することにより、急速に変化するベトナム社会における高齢者の経験を深く理解し、高齢者が有意義な老後生活を送るために必要な施設、支援、機会を提供する上で、必要となる情報を政策立案者や福祉提供者に提供していきたいと考えています。




病院に届けるお弁当を運ぶ車で  
荷物番をするLe准教授



病院の前でお弁当を配る仏教徒

 学部

アジア太平洋学部

 研究分野

文化人類学、民俗学